



## 関東甲信越ブロック



発行人  
関東甲信越ブロック支部長  
高柳 亮

ニュースレター No.20 (2018.03)

### 1. 各都県支部からの報告

#### 【群馬県支部】

群馬県支部役員 高柳 亮 (前橋協立診療所)

#### ● 平成 29 年度群馬県支部総会・研究会開催報告

2017 年 2 月 3 日、群馬県支部では年次総会と研究会を開催しました。今年度の研究会では、老年病研究所附属病院との共催で、函館陵北病院の川口篤也先生をお招きして講演会「多職種でとりくむ意思決定支援～地域で ACP (アドバンス・ケア・プランニング) をどう紡ぐのか?～」を開催しました。土曜日の午後にも関わらず、様々な職種の 50 名ものみなさんのご参加をいただきました。講演会の様子をご報告申し上げます。

函館の魅力と現実の紹介から始まった講演冒頭から、川口先生持ち前の軽妙かつ人懐っこい語り口に、会場は引きこまれていきました。DNAR、事前指示、アドバンス・ケア・プランニングのレクチャーでは、参加者自身が事前指示を書くワークを体験。医療行為に関する希望を記しただけの事前指示があまり役立たないことが実感できました。そしてアドバンス・ケア・プランニングの意味が明らかになってきたところで、川口先生が実際に関わってこられた事例を基にグループディスカッションを行いました。事例の紹介からは、川口先生ご自身が、多職種とともに悩みながら、それでも明るく取り組んでいる様子が目に浮かんできました。各グループでは色々な職種の参加者が熱心に議論に加わり、様々なアイデアを出し合いました。様々な経過の後ご本人の希望を慮って看取りを行った、事例の顛末を聞く頃には、多くの参加者の胸にこみ上げてくるものがありました。事例からは、アドバンス・ケア・プランニングの本質である、何度でも話し合うこと、「プロセス」自体の重要性が浮かび上がりました。とかく医療者は「はっきり決めたがる」が、「移ろい揺れるから人」であり「中腰」で耐えることが大切、との川口先生のメッセージが胸に落ちる事例検討となりました。

後半ではアドバンス・ケア・プランニングを医療機関や地域でどのように実践し、情報共有するかについて議論しました。書類ベースや ICT による情報共有のみならず、ハブとなるスタッフどうしが「会話」して情報を伝えあうのが大切、決まったことだけ伝えるのではなく、どんな「語り」があったのか、日記のような「プロセス」を共有するのが大切といった意見のほか、様々な現場で、「生き方」や「価値観」を考える文化を醸成することが重要といった意見が出されました。

最後に川口先生は、意思決定支援の「侵襲性」についても触れました。「相手を『わかったつもり』になっていないか」、という部分にハッとさせられたベテラン参加者も多かったのではないのでしょうか。他人のことを「わかる」ことは難しいと自覚しつつ、その方の情報「ものがたり」を、みんなですり合わせ、「このような『ものがたり』なのではないか?」と考える作業が求められていると、多くの参加者が実感したのではないのでしょうか。

3 時間半という長丁場でしたが、その長さを感じさせない充実した講演会となりました。はるばる函館からお越しいただいた川口篤也先生、当日ご参加いただきましたみなさん、ありがとうございました。



【栃木県支部】

事務局 竹島太郎 (自治医科大学)

年4回(8月、11月、2月、5月)の研究会を開催しております。

1. 第68回栃木プライマリ・ケア研究会、定期総会

日時：平成28年8月25日(木) 19時～21時

場所：矢吹クリニックセミナーハウス

テーマ：緑陰放談会

11月24日 研究会は大雪のため中止

2. 第69回栃木プライマリ・ケア研究会

日時：平成29年2月23日(木) 19時～21時

場所：矢吹クリニックセミナーハウス

テーマ：超高額な薬剤使用の年齢制限について、是非を考える

3. 第70回栃木プライマリ・ケア研究会

日時：平成29年5月25日(木) 19時～21時

場所：矢吹クリニックセミナーハウス

テーマ：、第8回日本プライマリ・ケア連合学会を振り返って

【千葉県支部】

支部長 林 直樹 (東武塚田クリニック)

第7回関東甲信越ブロック地方会を平成30年11月18日(日)に千葉市で開催します。

総合診療専門医認定制度の初年度であり、プライマリ・ケア医療が地域に浸透していくためにも、多く会員のご参加を切望いたします。

下記地方会概略ですが、随時ご案内をさしあげますので、11月18日(日)には、是非ともご参集くださいますようお願い申し上げます。

第7回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会

日時：H30年11月18日(日)

会場：「TKP ガーデンシティ千葉」(千葉市中央区問屋町1-45 カンデオホテルズ千葉内)

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-chiba/>

大会長：大平善之 (国際医療福祉大学医学部総合診療医学 主任教授)

I メインテーマ 地域医療を拓く総合診療が始まる！ ～地域を支える新しい医療の潮流～

II 特別講演

(1) 生坂政臣先生 (内容未定)

(2) 近藤克則先生 (千葉大学予防医学センター教授)：「健康格差社会」等、社会的視点での講演

III 教育講演

(1) 太田光泰先生 (横浜市大総合診療科 教授)：痛みの診療について (仮題)

- (2) 岡田唯男先生 (亀田ファミリークリニック館山 院長)  
藤沼康樹先生 (医療福祉生協連家庭医療学開発センター センター長  
千葉大学大学院看護学研究科 特任講師)  
総合診療のコア、魅力、課題、今後の方向など岡田先生、藤沼先生の講演の後、若手医師、中堅医師を交えてシンポジウム(予)

#### IV シンポジウム又はワークショップ

- (1) 千葉県プライマリ・ケア研究会との合同シンポジウム：  
(研究会例会を11月18日に合同で行う)  
①プライマリ・ケアの今までとこれから(仮題)(これまでプライマリ・ケアを支えてこられた研究会メンバーの方と若手医師をシンポジストとする)  
(2) 平原佐斗司先生：非がんのエンドオブライフ：講演形式より、シンポジウム、ワークショップなどを検討中  
(3) 各地域での総合診療医と医師会との関わり・うまく関りをしている所だけでなく、医師会との関りを模索している地域も検討  
(4) 総合診療専門医：新専門医制度スタートから約半年経過した時点での現状、問題点、今後の課題などについて指導医と専攻医がシンポジストとなり議論する。  
(5) 看護協会、薬剤師会、歯科医師会など他職種とのセッションを検討中  
(6) ワークショップ：今後公募含め調整していく

事務局：林直樹 (東武塚田クリニック；JPCA 関東甲信越ブロック千葉県支部長)  
千葉県支部 HP：<http://primarycare-chiba.org>

連絡先：(医)萌生会 東武塚田クリニック 〒273-0042 千葉県船橋市前貝塚町 565-12  
TEL047-430-3322 FAX 047-430-3450  
E-mail：[n-hayashi@tobutsukada.or.jp](mailto:n-hayashi@tobutsukada.or.jp)

#### 【埼玉県支部】

埼玉支部長 中根晴幸 (ハーモニークリニック)

埼玉支部のプライマリ・ケア(以下PCと略)連合学会関連活動の今年1年に向けての展望を報告いたします。まずは12月号に本項で報告した(小生の記名無く失礼しました)通り、昨年11月に埼玉支部が関わる中で地域の多くの方々のご協力で開催に至った第6回「PC連合学会関東甲信越ブロック地方会」の貴重な経験を活かそうと考えています。

今年1月には学会運営の関係者で地方会を振り返る機会を作りました。そこで再認識したのは、今回の地方会開催に向けて、多くの支援団体との結びつきの元に得られた成果は、本会の今後の活動推進に不可欠な、貴重な資産であるということです。

実際、県内協力の風通しが良くなったことを感じる一例として、県の医師グループによる活動を地域支部が後援する総合診療の勉強会が今年早々に実施されています。

埼玉県内は医療従事者の人口対比が我が国で最低である一方、高齢化社会の進展速度が日本一という有り難くない数字を意識しなければならない地域であり、今後明らかに苦勞する高齢社会に向けての処方箋を考えてゆかねばならない地域です。「ニーズが増す総合診療医育成の強化」および「在宅医療の枠組み強化」など、PC関連の地域活動がますます必要になるに違いありません。

埼玉支部としては、従来続けてきた11月の学術集会をさらに多くの会員、参加者に役立つものとして活かしたいと思えます。また支援をいただいている関東甲信越ブロック支部の方々にもお役に立つようにと望んでいます。よろしく願いいたします。

【長野県支部】

長野県支部 古川安之 (塩尻協立病院)

第4回中信ブロック研究会を、H30年5月12日(土)松本協立病院歯科センター2Fにて開催予定です。  
看取りをキーワードに、演題を募集しています。

4月中旬締切。抄録は4月末までに下記メールにお送りください。

塩尻協立病院 内科 古川安之 [furukaway@chushin-miniren.gr.jp](mailto:furukaway@chushin-miniren.gr.jp)

関東甲信越ブロックでは、ニュースレターにてブロック会員の皆様の活動報告なども掲載する予定です。  
掲載希望の方は以下メールアドレスまでご連絡いただければと思います。

\*\*\*\*\*

日本プライマリ・ケア連合学会 関東甲信越ブロック支部 事務局

kanto\_koshinetsu@primary-care.or.jp

\*\*\*\*\*